

# 廃熱・湧水等の未利用資源の効率的活用による低炭素社会システム整備推進事業



【令和2年度要求額 1,600百万円（1,600百万円）】

地域で活用されていない資源（熱・湧水等）を有効活用し、地域の脱炭素社会づくりを推進します。

## 1. 事業目的

- ① 地域の特性を活かしたエネルギー利用及び地域連携によるCO2削減対策の導入。
- ② 地域の未利用資源（熱・湧水等）を有効活用し、脱炭素化に向けた社会システムのモデルケースを創出。

## 2. 事業内容

一度整備されると長期にわたりCO2排出が懸念される社会システムについては、構築のタイミングで脱炭素型のものへと政策誘導することが不可欠である。本事業では、地域の未利用資源（熱・湧水等）の利用システムや高効率エネルギー供給システム等を構築する事業に対し、必要な設備等の経費を支援する。（補助率：中小事業者と地方公共団体（政令指定都市以外）は2/3、他は1/2）

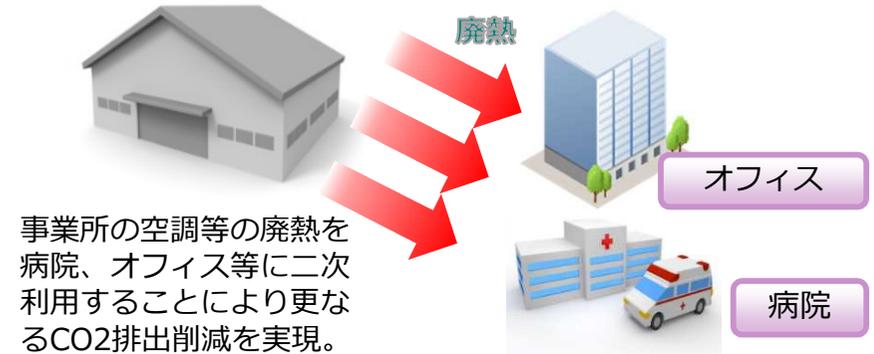
- （例）
- ・ 事業所空調やコジェネ等の廃熱地域利用
  - ・ 湧水等活用型空調の導入
  - ・ 地中熱・下水熱等を活用した融雪設備の導入
  - ・ 高効率な地域熱供給システムの導入 等

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業
- 補助対象 地方公共団体一般、民間事業者・団体
- 実施期間 平成29年度～令和3年度

## 4. 事業イメージ

### 事業所空調等の廃熱地域利用



### 地中熱・下水熱等活用型空調

地中熱・下水熱等の温度差エネルギーをオフィス等の空調に活用することによりCO2排出削減を実現。また、ヒートアイランド現象の抑制にも貢献。

